

嫌だなと感じたら

- 1 自分が悪いと悩む必要はありません。可能なら「嫌だ!」という気持ちを、言葉と態度で相手に伝えましょう。



- 2 もし、それが難しいなら、周囲の信頼できる人に相談しましょう。友人に相談しても良いですし、大学に開設の「ハラスメント相談窓口」を利用しても良いでしょう。

「ハラスメント相談窓口」は本学ホームページ、またはこのリーフレットの裏面をご覧ください。



あなたの意志を尊重し、秘密厳守で慎重に対応します。どうぞ安心してご相談ください。

- 3 「ハラスメント相談窓口（ヒューマン・クオリティー）」がお話をうかがいます。

- 4 必要に応じて更にお話をうかがいます。

相談員※1、相談方法※2を選ぶことができます。

※1 学外相談員、学内相談員がいます。

※2 メール、FAX、面談等で相談ができます。

学外相談員

学内相談員

相手に具体的な要求をしたいときには…

3つの解決方法

- 注意による解決（相手にハラスメントについて説明し、その行為をしないよう注意喚起します。）
- 調停による解決（問題解決に向けて当事者間での話し合いの場を設け、話し合いの援助をします。）
- 苦情申し立てによる解決（調査委員会が事実関係の調査をして、防止対策委員会が必要な学内手続きを行います。）

相談終了

問題解決

友人が困っていたら

親身に話を聞いて対策を考えてください。「ハラスメント相談窓口」に相談することを勧めましょう。

ハラスメント相談窓口

- e-mail : soudan@human-quality.co.jp
株式会社ヒューマン・クオリティー（ハラスメント相談専門機関）

※ 相談の際は「東京薬科大学の学生または職員、関係者」である旨をお知らせください。

次の事項を本学ホームページで確認して下さい。

- 相談員（学外相談員、学内相談員）
- ハラスメント防止のためのガイドライン（指針）
- ハラスメント防止に関する規定など

ハラスメントのない
東京薬科大学

ハラスメントに、NOを!

NO!
HARASSMENT



学校法人 東京薬科大学

〒192-0392

東京都八王子市堀之内 1432-1

学校法人東京薬科大学 ハラスメント防止対策委員会

あなたが、被害者にも加害者にもならないために ひとりで、つらい思いをしていませんか？

●セクシュアル・ハラスメントとは

「相手が不快と思う性的言動」によって個人の尊厳を傷つけ、学ぶ・働くことを困難にすることをいいます。基本的には、たとえ行為者本人が意識をしていなくても、相手が嫌だと感じたり、不利益を受けたらハラスメントに該当します。

こんな行為が該当します

- ◆ 卑わいな冗談や話をしたり、からかったりする。
- ◆ 性的な経験や性生活について質問をしたり、話したりする。
- ◆ スリーサイズを聞くなど身体的な特徴を話題にする。
- ◆ 無理やり食事やデートに誘う。住居などについてくる。
- ◆ 性的な内容の電話をかけたリ、メールや手紙を送りつける。
- ◆ 「彼氏(彼女)はいるのか」など自分のプライバシーに触れることを言う。
- ◆ 抱きついたり、腰や胸、身体に触る。
- ◆ 女性だからとお茶くみや、私用を押しつける。
- ◆ 個人の性に関するうわさを流す。
- ◆ 酒席で、無理やり隣に座らせたり、お酌を強要する。
- ◆ 課外活動や懇親会で異性的な役割を押しつける。



●アカデミック・ハラスメントとは

教育・研究活動上、指導的な立場にある人が、その指導を受ける人に対し、差別的な発言や行動を行い、学業・研究・進学・働くことを妨害したり、尊厳や人格を侵害することをいいます。

こんな行為が該当します

- ◆ 適正な指導の範囲を超えて大声で叱責したり、暴言を繰り返す。
- ◆ 理由なく、論文やレポートを受け取らない。
- ◆ 学生に侮辱的な発言をする(ばか、無能、死んでしまえ、話すだけ無駄など)。
- ◆ 「放任主義だ」などと言い、研究指導やアドバイスを一切しない。
- ◆ 理由がないのに、単位を与えなかったり、退学を促したりする。
- ◆ 研究テーマを与えない。または一方的に押しつける。
- ◆ その人のアイデアや研究成果を無断で使用する。
- ◆ 必要がないのに休日・休暇中に研究室等への来室を強要する。
- ◆ 不当に低い評価をつける。適正な評価を行わない。
- ◆ プライバシーに関することを言いふらす。



●パワー・ハラスメントとは

職場において優位な立場にある人が、その権限を不要に行行使し、職務上、従属的な立場にある人に対し、その意に反する不当な取り扱いを行い、不利益や損害を与え、尊厳もしくは人格を侵害することをいいます。

こんな行為が該当します

- ◆ 「無能」「ばか」「やめてしまえ」など人格を侵害することを言う。
- ◆ 部下が上司に話しかけても、聞こえないふりをしたり、無視をする。
- ◆ 職務上、必要な情報を意図的に伝えない。
- ◆ 経験や知識を無視して過大な仕事を割り振り、できないと非難する。
- ◆ 個人の意見の違いを理由にして、不利益な人事措置をほのめかしたりする。
- ◆ 但し、業務上のミスを指摘したり、評価をすることは教育や指導として必要なことで、ハラスメントには当たりません。



●その他のハラスメントとは

複合的な要素で構成されるハラスメントのほか、アルコール・ハラスメント、上級生が下級生に不快な行為を強要する、多数が少数に対して行う差別や嫌がらせ、男女間での身体的、精神的、性的な暴力(デートDV)なども問題となっています。

こんな行為が該当します

- ◆ 「女はこの職種には向かない」と言って、男性に比べ研究指導を手抜きする。
- ◆ コンパの席で「男なんだから、飲め!」と飲酒強要する。
- ◆ サークルなどでトレーニングの名を借りたごきやいじめを行う。
- ◆ 多数が少数を仲間外れにする。
- ◆ 彼氏が携帯を見て、男性からの通話履歴があるといって罵る(殴る)。
- ◆ インターネットを使ってブログ・掲示板への個人を特定した誹謗中傷等の書き込みをする。

